



ロータリークラブとの植樹会へ参加して



富士吉田ロータリークラブが例年実施されている植樹会に、地域交流の一環としてボランティアで参加した。植樹会は5月10日に市内の恩賜林公園内で実施され、本学からは学生42名、片桐教育部長はじめ11名の教職員が参加した。初夏の日差しの中、ロータリークラブ会員の方の指導のもと慣れない手つきで鋤を使いクヌギの木を100本植樹し、さらに公園付近のゴミ拾いを行った。連休中にもかかわらず参加してくれた学生は富士山の自然に触れ、地域の皆さんとも交流ができ、意義ある活動であった。将来、自分たちの植えたクヌギの成長を自分の目で確認するため、思い出の富士吉田を訪れてほしいと願っている。



クラブ活動紹介 第4回 管弦楽団

歯学部1年 久保倉 弘史君 (神奈川県立厚木高校出身)

私達管弦楽団は総勢48名で毎日楽しく活動しています。

先日行われた寮祭ではオーケストラはもちろん、アンサンブルやダンスも含めたミニコンサートを行いました。

今年は例年よりも人数が多く様々な曲や演出を行えた反面、なかなかひとつにまとまらず、音楽面でもチームワークの面でも苦労しました。

しかし、「寮祭で、皆で演奏しよう!」を目標に全員が練習に励み、当日は私達もお客さんも楽しめる演奏ができました。

これからはクリスマスパーティーや医療施設でのボランティア演奏に向けて、お客さんにより楽しんで頂ける演奏を目指して頑張っていきたいと思っています。



公開講座開講

富士吉田教育部主催の第24回公開講座「香りを楽しむ—香りのサイエンス—」に100名以上もの参加者を迎えることができ、ご参加くださった皆様および関係者各位に厚く御礼を申し上げます。本講座では香りの成分や香りを感じるメカニズムに関する解説を行い、香りを感じる簡単な体験実験と香りをブレンドしながらルームフレッシュナーを作ることにチャレンジしてみました。参加後のアンケートからは、香りが日常生活に密接に関係していることを再認識して下さったことがわかり、さらに香りを身近なものとして楽しんでくださるようでした。今回の公開講座を通して、昭和大学と富士吉田地域との文化的連携に少しでもお役にたてたなら幸いです。



白百合 権合

昭和大学だより
第6号 2009.7.15 発行

発行責任者 富士吉田教育部長 片桐 敬
編集責任者 富士吉田教育部教授 倉田 知光
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田 4562
TEL 0555-22-4403



倉田知光撮影

昭和大学富士吉田教育部教育委員長 南條文雄



富士山の雄姿という雪を頂いた冬場の風景を思い浮かべる人が多いと思いますが、夏の富士山にも独特の情景があります。夏になると夜空にそびえ立つ黒ずんだ山腹に、登山道に沿って点々と山小屋の灯りが見えることがあります。暗闇の中の巨大な山影に点在するほのかな光を見ていると、しばし幻想的な気分を味わうこともできそうです。

昭和大学富士吉田校舎は富士の大自然の懐に位置し、初年次一年間はすべての学部の学生が、ここで寮生活をしながら勉学にはげむことになっています。将来チーム医療を担うために必要な基本的な事柄を、毎日の共同生活を通して習得し、その体験を医療に活かしていける人になってほしいからです。不安な面もあるかもしれませんが、寮生活を支援するスタッフが部屋ごとに配置されていますから、すぐに慣れ思い出深い楽しい一年間を送ることができるでしょう。

富士吉田キャンパスでの一年次の教育は、大学生としての教養教育、理系学生としての基礎教育、医療人になるための専門教育と盛りだくさんのカリキュラムが開設されています。ここで二年次以降の専門教育の基礎的な知識・技能が系統的に学べるようになっています。国家試験に合格しなければならないことはもちろんですが、昭和大学は、さらに医療人として生涯にわたる自己教育を怠らない高度の専門職の育成をめざしています。

富士の大自然の中で、寮生活やクラブ活動での新たな友との出会い、受験勉強では考えられなかった大学での新たな学びの発見、それを昭和大学富士吉田キャンパスから始めてみませんか。

体育祭

ここ数年、グラウンドのコンディション不良により体育館で行われていましたが、本年度は天候に恵まれ、快晴の中での体育祭となりました。体育祭委員長と副委員長による富士山に向かっての選手宣誓に始まり、助けて綱引きと障害物リレーの2種目が行われました。特に障害物リレーでは、騎馬を組んでスタートし、吊り下げられたパンに喰らいつくといった難しい障害や、お互いの息を合わせないと難しいムカデ競走が組み合わされており、白熱した戦いがみられ、非常に盛り上がりました。結果はオレンジ組の優勝。競技の前にはお揃いのTシャツを着た各組の学生たちが、みんなで円陣を組んで士気を高めあう姿もみられ、熱いパワーで溢れていました。



寮祭

富士吉田キャンパスにおける前期の一大イベントである寮祭が6月26日(金)と27日(土)の両日、例年どおり盛大に行われました。梅雨の鬱陶しさを吹き飛ばす好天に恵まれ、学生たちの活躍ぶりにだれもが目を見張りました。主な会場は四カ所、広いグラウンド、そのグラウンドの一角に設置された特設ステージ、講義棟内にある第一講堂、そして敷地内に軒を連ねる模擬店です。ステージでは、バンド演奏、ダンス、寮対抗・部活対抗のイベント、そして、この寮祭の隠れた名物イベント「裏Mr.&Mrs.コンテスト」などの見物、聴き物が目白押し。「裏コン」では男装の麗人、女装の貴人たちが妖しい雰囲気醸し、会場は喝采の嵐。学生たちの多才ぶり、異才ぶりが観客を魅了しました。

第一講堂では演劇、合唱、管弦楽、アカペラ、ダンスなど、じっくり楽しませてくれる出し物が次々に舞台を飾り、学生や教職員はもちろん、ご父母の方々や地元住民の皆さんなど、大勢の来訪者を堪能させてくれました。

食欲をそそるとりどりの模擬店もひと段落したあと、初夏の宵闇迫るグラウンドでは、フィナーレを飾るにふさわしいキャンプファイヤーと花火とが会場全体をドラマチックな雰囲気包みます。富士吉田キャンパスでの夢のひとつがいつそう忘れ難いものになるこの演出。大学の場を舞台に、そこに集うすべての人々が絆を強める二日間のイベントとなりました。



第2回 オリエンテーリング大会開催

5月16日、新緑の候と穏やかな暖かい陽射しの気候のあいさつの時期だが、鳴沢の緑の休暇村は寒風の吹く曇り空のもとでの開催となった。

暑いさなか炎天下での脱水を心配するより良かったが、頑張って駆け抜けた学生達の汗が冷えて風邪などひかないかと逆の心配となった。

それにしても第1位と最下位の時間差は1時間以上。待つほうもくたびれてくるし、何せ寒い。本部で見張りをしている教職員が最も寒かったのではなかろうか。最後の組のスタートには本部結めの教職員も多数同行した。頑張った組にもそうでなかった組にも例年と同じく、コンパ担当の先生からいろいろな形で差し入れの心が届いたのではないだろうか。こんなコミュニケーションも楽しみの一つである。



昭和大学富士吉田校舎オープンキャンパス

夏を思わせる快晴のもと、平成21年度富士吉田校舎オープンキャンパスが行われました。

昭和大学では建学の精神である「至誠一貫」、すなわち「患者さんの立場に立った医療」、「まごころを尽くす医療人」の育成を目的として、初年次に医・歯・薬・保健医療学部の4学部の学生が全寮制生活を行っています。初年次教育における全寮制度はハーバード大学、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学など国際社会をリードする大学において古くから導入されており、その重要性、有用性は既に国際的に認められています。本学の全寮制教育を入学前にご理解頂くため、毎年、学生達にとって最初にして最大のイベントである寮祭にあわせてオープンキャンパスを行っています。

当日は211名のご参加を頂きました。寮祭への参加を通しての在学体験、本学の教育の理念ならびに各学部のカリキュラムの紹介、在校生から受験生へのメッセージとなる講演、食堂での食事体験、教

育施設や寮の見学、模擬実習や学生とのフリートークなどが行われました。半日の在学体験でしたが、どの参加者も日々の苦しい受験勉強を忘れるひとときを過ごし、真剣な眼差しと溢れる笑顔で来春の自分の姿を思い描いているようでした。

次回の富士吉田校舎オープンキャンパスは秋風が吹き始める8月30日を予定しています。

